

令和4年度サイエンスアカデミー 報告

◇期 日:令和4年9月24日(月)

◇場 所:富山中部高校(生物実験室)

◇参加者:SS生物部員4名

◇指導者:SS生物部顧問 真野佳余先生、中村拓彦先生、藤井泰紀先生

サイエンスアカデミーは、毎年県内の小学生、中学生を対象に、科学(算数・数学・物理・化学・生物)の発展的な内容を通して、小・中学生の科学(算数・数学・理科)に対する関心を高めるとともに、科学的思考力・想像力の開発・伸長を図る、実践的機会である。今回は中学3年生を対象に本校にて「腎臓」をテーマとした講義が行われた。



本校からは、SS生物部員4名がアシスタントティーチャーとして参加し、先生方の講義の内容に即して中学生の方への援助や質問対応を行った。豚の腎臓の解剖実験の際の援助では、初期段階において戸惑っている方が多く、迅速な対応を迫られたが、なんとか終了時刻までにはすべての実験を終えることができた。



アシスタントティーチャーとしても非常に学びのある機会だった。腎臓に関する知識等に加え、人との関わり方や接し方など普段の生活の中では滅多にできない経験を、サイエンスアカデミーを通じてすることができた。教わる側から教える側に立つことで、より多角的な考え方を育むことができたと思う。今回の経験を活かし、今後の活動に役立てていきたい。